

日本石油株式会社々長 内藤久寛

道路の改良は農村保護の爲め最も必要である

米國に於ては農作物の運搬等にすべて自動車を使用せらるる故、劣悪なる道路はガソリンの損失、タイヤ及機械類の損傷等の爲め農業者に損害を與ふること最も甚だしい。最近の調査によれば同國に於て優良なる道路と悪しき道路との差は一哩に付乗用車一仙半、貨物車二仙と見積られて居る。此の計算よりして昨一九二三年に於て優良なる道路は全米國民に七億五千萬弗の費用を節減せしむるを得たが、其内三億弗は實に農業者の得たる利益であるといふ。日本に於ても漸次農村に自動車の普及せんとする趨勢ある今日、道路の改良は農業者保護の爲最も必要であると思はれる。又道路の改築其他に農村の工夫を役するが如きも農村救済策の一端たるべきものと信ずる。

若し優良なる道路が舗設せらるれば其運賃は多大の輕減を見る

今日鐵道及び船舶に依り東京市を出入する貨物は一ヶ年一千萬噸と概算せられるが、其の小貨物各個の運賃は平均して約一噸に對する割合を九圓として九千萬圓に上つて居る。是れは現在東京市の惡道路に基づく揮發油の損失、タイヤ及機械の損傷其他に依り非常に高いものに附いて居るので、若し優良なる道路が舗設せられたならば其の運賃は多大の輕減を見るであらうといふ。此の巨額の運賃が輕減せられたならば其れ丈け物價の下落を來すに至るは必然の理で、市民の生活難を緩和する爲にも閑却す可からざる大問題である。

日本の惡道路は世界第一の定評あり

不急の工事を起すは賛成し難きも、必要止むを得ざる道路工事も財政緊縮の犠牲とする加きは、大に考慮を要する所であると思ふ。日本の惡道路は世界隨一の定評あり、之れが人民の經濟上、衛生上、精神上に及ぼす惡影響は殆ど測り知ることが出来ぬ。特に都會地の如く年々自動車の増加に依り交通繁劇の度を加へつゝある今日、財政緊縮の爲に大多數の道路工事を中止又は繰延するに於ては、我國の道路は今後幾年ならずして全く破壊さるゝに至るやも知れぬ。當局者は是等の點に付大ひに斟酌を行ふの必要があると思ふ。